

防災教室

令和3年度 防災教室

演題 「大仙市で発生した過去の地震災害を学び防災・減災活動を考える」

秋田大学地方創生センター 教授 水田敏彦 氏



講師の先生：秋田大学地方創生センター 教授 水田敏彦 先生

強首地震

約100年前におこった強首地震について、地震のメカニズムの動画と共に、教えていただきました。「地震の規模のわりに死者が多かった、それはなぜか？」

- ・早朝の寝ている時間におこった
- ・かやぶき屋根が重く、家屋が倒壊しつぶれた

防災とは

- ・災害を知る（敵）
- ・地域を知る（己を知る）
- ・知識を活かす（備えて逃げる）

令和3年9月29日（水）防災教室が行われました。毎年のように全国各地で地震や水害が起こり、被災される方がいます。大仙市もここ数年で何度も大雨により川が氾濫し、山が崩れ、家屋が浸水したニュースが流れています。そこで今回は、大仙市（西仙北及び周辺）で発生した過去の地震等の災害について学び、その教訓をもとに今後の防災・減災活動を考えるための防災教室を実施しました。



日本は災害の多い国です。そして、災害は繰り返すので、過去の経験を学ぶことは非常に大切です。

最後に時田さんが、今回教えてもらったことを忘れずに次の世代に伝え、真剣に考えて克災することを誓いました。

